



だれだ〜!!こんなことをするのは!! 根本 三枝子

明けましておめでとうございます。今年も優ライフ事業部ではたくさんの情報を詳しく、そして楽しくお伝えしてまいります。私の家は玄関の入口の近くに60cm位の水瓶が置いてあります。この水瓶は蓮の花を咲かせるものでした。しかし夏にポーフラが発生するのは嫌なので金魚を飼いました。夏は毎日のように金魚に餌をあげていましたが最近寒くなったせいか『ご飯ちょうだい』とおねだりすることもなく姿を見せなくなってしまいました。



そんなある日、蓮の葉っぱの上に大きな落ち葉?が…『金ちゃんげんき〜』と声をかけながら餌をあげようとしたら????  
ヒエ〜 なっ、なんとあの大きな落ち葉だと思っていたものは…大きなウツ・ウツ・ウ○コだった!!  
だれだ〜!! 金ちゃんの中にウ○コするのは〜(それも蓮の葉っぱの上にちゃんとのっかっているではないか) そ〜っとヒシャクですくい取りましたが、どうやって水瓶の真ん中にウ○コをしたのだろう?? 思わず想像してしまいました。たぶん水瓶の厚み2〜3センチのふちに乗っかり中央の蓮の葉めがけて噴射!! おそらく中の金魚を取ろうとして上手く行かなかった腹いせにやったのかも? いずれにしても名人芸と思わざるを得ないですね!! 今年も運(ウン)が上がる予感(笑)

### ネット通販



佐藤 信吾

先日、あまりネット通販をしない知人から買ってほしいものがあるとわれ、某通販サイトから商品を購入。配達先を選択しようとしたら、店頭受取サービスなるものが。なんじゃこりゃあ!? うちの奥さんに聞いてみると、「今はコンビニでも商品を受け取れるんだよ、知らないの?」と平然と言われてしまいました。何と! そうだったのか! 自宅だと日中は不在にしているの、近くのコンビニで仕事帰りに受け取れるのはありがたいなと思い店頭受取サービスを選択。私もネット通販から購入するのは10年ぶりくらいだったので、今はコンビニでも商品を受け取れるのだと初めて知りました。今は本当に便利な時代になりましたね。ただ、いつの間にか浦島太郎状態になってしまわないよう、時代の流れに取り残されないようにしないと…(笑)

おススメの一品!



### セフベルトホルダー



我彦 武大

皆様はタジマのセフベルトホルダーをご存知でしょうか? 片手でカンタンに着脱できるコンベックス(スケール)落下防止用ベルトホルダーのことです。  
最近、コンベックス以外にもセフベルトホルダーで脱着できる腰袋、工具差しが発売されました。規格が共通なので、コンベックスを外して、腰袋を取り付けることが可能です。セフベルトホルダーがベルトについていれば、ワンタッチで取付けられるので腰周りの組み換えが簡単になり作業効率が上がります。  
これを機に腰回りをドレスアップみませんか!

クイズの答え: 犬ちゃん(犬が200種位、猫が50種位だそうです)

# ねもかな通信 No.78

平成30年 1月号

発行人 (株)根本金物  
〒960-8032 福島市陣場町9-28  
TEL 024-534-0962 FAX 024-531-3024

### 優ライフ情報

今月の「わいわいクラブ」は一月二十四日(水)午後二時〜です。皆様のご参加お待ちしております。



### ああ誇り高き日本語

根本 勉

明けましておめでとうございます。今年も皆様の「ご多幸、ご健勝を御祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

ちよっと気になったケント・ギルバートさんの話…ケント・ギルバートさんといえば今では日本中で知らない人がいないくらい有名なアメリカ人の弁護士です。

私なんか30数年前、「世界まるごとハウマッチ」という番組が好きでよく見ていたものです。そのケント・ギルバートさんが書かれた本に「日本語のすばらしさ!」について記述してあった部分がとても印象的だったので、一部を要約して紹介致します。ケント・ギルバートさんが云うには『英文を日本語に翻訳するにはあまり苦労しないが、日本語を英語に翻訳するときは少々厄介だ!』

日本語は漢字という一種類の表意文字と、ひらがなとカタカナという二種類の表音文字を組み合わせて表記出来る。しかも助詞をうまく使えば日本語は文の中で語順を入れ替えることさえ自由自在だ! 他方、英語はアルファベットという26文字だけで全てを表現しなくてはならない。便利な助詞は存在せず、倒置法などは限られる。ちなみに日本語の「かな」は五十音といわれるが

「が・ぎ・だ・ば」行の濁音、「ば」行の半濁音。「あ」行と「つ・や・ゆ・よ・わ」という捨てがなを入れると「ひらがな」は76文字、カタカナは「ヴ」も使うから77文字ある。加えて常用漢字は二二三六字、四三八八音訓もある。同じ言葉でもどの文字種を使うかで微妙に意味を変えられる。したがって、日本語で文章を書くときの自由度の高さは英語とは比較にならない。うまい皮肉を日本語で思いついても英語で表現しようとするとなんか大変なのだ。

世界に誇るべき日本語の表現力だが、前回の連載で「君が代」の変遷について書く際に、日本の初代文部大臣の「森有礼」について調べていたら驚くべき事実を知ってしまった。「森」は10代でイギリスに留学しており、英語が非常に堪能であり、この日英バリンガルの大先輩は、「日本語を廃止して英語を国語にするべきだ!」と考えていた。漢字の複雑さを特に問題視していたようだ。確かに明治初期の漢字は今よりも複雑で、数も多かった。話し言葉は口語、書き言葉は漢文、という不自由な習慣もあった。

西洋に遅れた政治や経済、科学などの学修に必要不可欠な英単語は、日本では概念すら存在しないものが多かった。

例えば、社会、存在、自然、権利、自由、個人、品性、人格、情報、近代、美、恋愛、芸術、彼、彼女などの言葉は江戸時代の日本にはなかった。明治期の先人が苦労を重ねて生み出したのだ。もし、これらの言葉が使えなかったら日本語の文筆作業はさうとうもどかしい!

だから、当時の「森」の気持ちも理解出来るが、現代から見れば満41才で暗殺された「森」の考えは若気の至りだった。もし森有礼の言うように母国語をチェンジしてしまったら50〜60年以上経った時、自国の歴史や文化などの資料や学術本など読める人はいなくなってしまう。そうならば歴史の真実など分かるわけも無く自分の都合で歴史が創られていくでしょう。

以上がケント・ギルバートさんの本からの抜粋でした。

日本が世界に通用するのは、どの国よりも複雑な文字文化を持つことによって微細な感覚や感情を表現しやすくしているおかげでしょうか?

日本語文化は世界に誇れるものと確信いたしました。今年も昨年同様宜しくお願い申し上げます。



勉

## メンバーの小部屋

趣味のことから思った事、感じた事など自由にコメントしております。楽しんで頂けると幸いです。



ユリ



平尾 和重

秋口にホームセンターなどで一斉に春に花が咲く球根の販売が始まります。種類もチューリップや水仙など一般的なものからちょっと変わったものまで各種苗メーカーが競い合うように豊富です。

普段は売り場を目で楽しむだけでしたが今年は、遊び心で栽培法がよくわからない「ユリ」を購入！説明書き通りプランターに植えてあとは放ったらかしにしておりました。ところがちょっと目を離れた隙になんと寒い時期なのにもう、土の上に芽が出てきているではありませんか!!

春と勘違いしてしまったか!? どうしたものかと慌てて調べてみるとユリは種類によっては小さい芽の状態越冬するそうでホッと一安心。

子育て同様、植物栽培も予期せぬ事の連続でいつも大慌てです(笑) 来年の開花時期が楽しみです。



干支

佐藤 信吾

今年の干支は戌年ですね。

干支といえば、高校野球で有名な「甲子園球場」に干支が由来していることを初めて知りました。もともと干支とは暦などを表す「十干」と、「十二支」を合わせたもののようで、十干(甲、乙、丙、丁…)と十二支(子、丑、寅、卯…)の最初の一字を組み合わせると甲(きのえ)+子(ね)で甲子となります。完成した1924年(大正13年)がちょうど一番最初の甲と子が組み合わせる縁起の良い年であることから、旧名の枝川運動場から甲子園大運動場と名前が変わったようです。普段何気なく使っている言葉でも、その由来を調べてみると意外と面白いものですね。

昨年のお気づき



我彦 武大

明けましておめでとうございます!

昨年、ある方から頂いたはがきに「人は人と交って人になる」という言葉がありました。確かに多くの人との出会いや話は違った視点や価値観から新しい気づきやヒントがあります。また、相性の合わないと思う人や苦手だと感じる人は自分にはない考え方を持っています。しかし合わない人とは避けてしまい、合う人とだけ付き合います。それでは独りよがりの人になってしまいます。一期一会を大事にし、いろんな方と付き合い、学びを深めたいと思います。

## 新年ねもかなクイズ

明けましておめでとうございます。2017年も始まったと思ったらあっという間に2018年に突入です。皆様は新年の目標は立てられましたか?では早速、新年ねもかなクイズです。答えは2択ですので、答えがわからない方は新年早々の運試しとしてもご利用下さい。



猫ちゃんと今年の干支の犬ちゃんて品種が多いのはどっち!?

①犬ちゃん

②猫ちゃん



## 福島市の象徴信夫山



みんなが知っているようで、意外と知らない信夫山



皆さんは信夫山の泥湖伝説をご存知でしたか?福島盆地(信達平野)が数千年前には泥湖に沈んでいてその真ん中に美しくぽっかりと浮かんでいたのが信夫山だったというものです。その頃の福島の住人たちは周辺の山あいの痩せた土地に細々と暮らしていたようなのですが、そのような島だから自然と周辺の住人の信仰の対象になってくる。水に浮かぶ島だから農耕の守り神様、水の神様として厚く祀られていたそうです。その証拠に福島の南に、伏拝みという坂があり、当時そこに住む人たちが遠くに浮かぶ信夫山をはるかに伏して拝んだものがそのまま地名になったとされています。その他にも信夫山墓地公園の中にあつた船繋ぎの松、土湯口の船引沢、佐原庄の土船、伊達の舟生などが同じ水平線上に並ぶ不思議から当時、舟による交通があつた証拠であつたという説もあるそうです。真偽の程はともかく、古代の福島地区に想いをはせてみるというのもいいものですね。

## 私のオススメの一冊

貧乏大名やりくり物語を読んで

平尾 和重

江戸時代に徳川家の家来で日本各地の領地の支配を任されたお殿様達。その領地の支配の仕組を「藩」といい、一万石以上の収入がある領地を任された者(家)を大名といいます。

その中で、もっとも規模の小さい領地を支配した喜連川家の歴代のお殿様達。本書はその喜連川家(藩)にスポットを当てながらその時代の大名達の生活や苦勞をわかりやすく紹介しております。

大名家というものや藩のことがわかり、歴史好きの方にも是非オススメです。江戸時代の大名家は江戸参勤交代という制度で国元と江戸を行ったり来たり。これは大名家にお金を使わせ、謀反を起こすような資金を蓄えさせないようにとの政策のようなのですが、とにかく時代を重ねていくに従って台所事情は火の車。そこで各藩知恵を絞って新田を開発し、石高を上げて収入を増やしたり、新たな特産品を作り出し、現金収入を得たりなどしております。もちろん、成功した藩ばかりではなく、幕末期には経営が破綻寸前のところも少なからずあつたそうです。喜連川家では特別に参勤交代は免除になってはいたのですが、絶対的な収入が少ない中で藩としての体面を保つためにも資金面では当初から苦しかったようです。政策としては色々な事をおこなっており、新田開発・特産品作りはもちろんの事、領地へのお酒の持ち込みに税金をかけるなど、そのアイデアには脱帽いたします。特に基幹産業になったのが資源の乏しい領地ながら参勤交代の通り道という地の利を生かして宿場町での収入を得ることでした。今風に言えばホテル業でしょうか。

大名のお殿様自らが先頭に立って行動し、他の宿場町が驚くような手厚いサービスを行い、かなりの賑わいを見せたそうです。他でやらないことを徹底的にやるというのは十分今でも通用する経営戦略の一つであり、歴史に学ぶ大切さをこういう部分一つとっても感じることができます。

そもそも、この喜連川家は滅亡した室町幕府の足利家が名字を変えたもので由緒正しいお家柄。収入石高も本来一万石以上が必要な所、特例でその半分の五千石で藩の扱いになっています。身分も正確には徳川家の家来という立ち位置ではなく対等なものです。江戸時代を代々のお殿様達が家来や領民を想う気持ちと知恵を絞ってお家を存続させてきたという事実を考えるとその苦勞がしのべれます。また、かつては日本全国を統治していた室町幕府の足利家がその後には一番小さい藩の領主となっているというのはとても面白いことと思うと共に運命の不思議さを感じます。

与えられた環境の中で精一杯生きることの大変さと大事さを感じさせてくれた一冊でした。